

**社会**

中学校 歴史的分野 (5) 「近代の日本と世界」～時代を大観し表現する活動～

●これは、「埼玉県中学校教育課程指導資料 平成22年3月」のP31～32を基に、加筆・修正して作成したものです。  
 確かな理解と定着を図ることをねらいとして、学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる授業です。展開中の①～④は以下の【課題解決のための授業改善の視点】のそれぞれの取組であることを表します。

**【課題解決のための授業改善の視点】**

- ① 作業的・体験的な学習、問題解決的な学習の重視 生徒の主体的な活動の場の設定
- ② 様々な資料（文献、絵図、地図、統計、写真、年表など）の活用
- ③ 説明や論述、討論などの言語活動の充実
- ④ 基礎的・基本的な内容の定着 家庭学習や自主学習の推進



**【本時の目標】**

- (1) 学習した内容を活用して近代を大観し表現する活動を通して、近代の日本と世界の特色を理解させ我が国の歴史の大きな流れをとらえさせる。
- (2) 自分の言葉で表現することで、歴史について考察する力や説明する力を育てる。

時 間	主な学習内容と学習活動	指導上の留意点 ◆評価 (→支援) ★教育に関する3つの達成目標との関連 ◎学力向上プランとの関連	資 料
導 入	1 前時までの復習 ・近代の学習について振り返る。	・単元の導入で使用した人物の写真パネルや、中学校で新たに学習する人物の写真パネル等を用いて復習させる。	人物写真パネル
	<p>導入は、生徒を授業に引き込む重要な時間です。問題意識や興味・関心を高め、学習への必然性をもたせるように工夫しましょう。</p> <p>*写真、ビデオ、実物教材、新聞記事等生徒にとって身近で興味・関心を高める資料を活用することが有効です。</p> <p>*記憶、知識を中心とした導入は、意欲を低下させることが多いです。</p>	<p>◆評価 (→支援)</p> <p>★教育に関する3つの達成目標との関連</p> <p>◎学力向上プランとの関連</p>	<p>小学校社会科で学習してきた内容との関連を図りましょう。</p>
展 開	2 近代の特色をとらえる ・年表を用いて、近代の出来事を「政治の展開」「産業の発展」「社会の様子」「文化の特色」「国際関係」の視点で色分けし、印象に残ったことを書きだす。	・年表で近代の出来事を確認することで、「近代の日本と世界」を大観する学習につながるようにする。	年表 ワークシート
	<p>年表・地図・グラフ等の資料を活用して調べる学習活動を積極的に取り入れましょう。</p>	<p>◆近代の出来事を意欲的に色分けし、単元で身に付けた学習内容を整理している。(関)</p> <p>学習課題を提示(板書)し、学習の見通しを持たせましょう。</p>	<p>新学習指導要領歴史的分野において、大きな改訂の一つとして「大観し表現する活動」が新設されました。この授業は2時間扱いで構成されています。</p>
1 時 間	3 課題の確認 ・本時の課題を確認する。		
	<p>「近代とはどんな時代だったのか ～時代の特色を自分の言葉で表そう～」</p> <p>「近代の日本と世界」を一言または1文字で表すと、どんな言葉になるだろうか。</p>	<p>◆今まで学習してきた知識や概念を生かして、単元のまとめを行うことを伝える。</p> <p>「つまりこの時代は」「この時代を代表するのは」等のフレーム(型)を与えて記入させることを通して段階的に表現力を育てましょう。</p>	ワークシート
③	4 発表 ・考えた言葉を発表しあう。	・これまでのノートや作成したイメージマップなどを見直しながら、自分の考えをまとめるように指示する。 ◎近代の特色を簡潔に自分の言葉で表現する。	
	<p>言語活動の充実を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図りましょう。</p> <p>*社会科における言語活動としては、読み取り・解釈・説明・論述等が想定されます。また、互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる活動(討論等)も有効です。</p>	<p>◆級友の意見を聞いて自分の意見を修正し、深めている。(思) 【ワークシート】</p>	
	<p>授業のねらいをしばり、生徒の主体的な活動の場面を設定しましょう。</p>		



